



株主通信

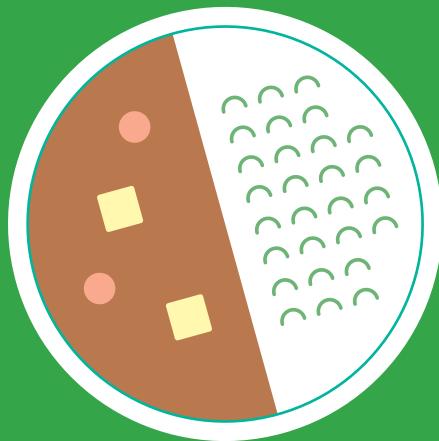
第59期

2022.3.1 >> 2023.2.28

証券コード：2918

グループ理念

私たちは「安全・安心」と
「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より当社事業に対し格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第59期の株主通信をお届けいたします。

■ 経営環境 食品業界におきましては、コロナ禍における新しい生活様式に基づく消費者需要の変化への対応が求められているなか、原材料価格やエネルギー価格の上昇により、厳しい経営環境となっております。

このような環境下、当社は消費者のニーズを的確に捉えた商品開発、コスト上昇に対応した原価管理の徹底、省力化機械の導入推進や生産体制の見直しによる生産性向上のほか、さらなる成長に向けたグローバルな事業基盤の構築に取り組んでまいりました。

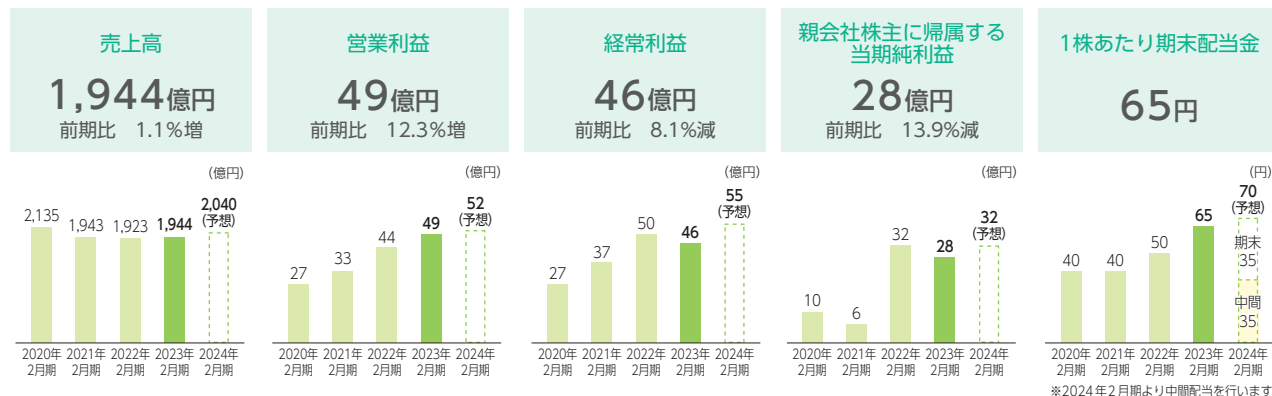
■ 営業利益は過去最高を更新 2023年2月期(第59期)の業績につきましては、売上高が主力事業の食品関連事業で回復が進んだことから前期を上回りました。

利益面では、原材料やエネルギーといったコストの上昇影響を受けたものの、売上の一部回復や魅力的な商品の開発によって収益性を高める商品規格の見直しが奏功したことなどにより、営業利益は過去最高を更新いたしました。一方、前期の一時的収入の剥落や持分法投資損失の計上などにより経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前期を下回りました。

■ 配当方針の変更 当社は株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題と位置付けております。このたび、配当方針における連結配当性向の基準を40%に引き上げたことに伴い、2023年2月期の配当金は前期に比べ15円増額し、1株あたり65円としております。

今後も収益構造の強化を図るとともに、より企業価値を高め、持続的に成長する企業グループを目指してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 2023年2月期 決算ハイライト



代表取締役社長 辻 英男

セグメント別の概況



食品関連事業

コンビニエンスストア向け弁当・おにぎり・調理パン・惣菜・和菓子等の製造販売
国内・海外いずれの地域も順調に販売を伸ばし、前期に比べ増収増益となりました。特に海外は、現地で開発する地域に根差した商品の浸透に伴う顧客の定着に円安の為替影響が重なったことで、売上高は121億円となり、前期に比べ3割もの増収となりました。

売上高 **1,695億円**
前期比 4.3%増

営業利益 **50.4億円**
前期比 17.6%増

セグメント別
売上高構成比

87.2%

5.8% 6.7%

0.3%



食材関連事業

国内外からの食品用材
料の調達・加工・販売

売上高
113億円
前期比 14.9%減

営業利益
0.8億円
前期比 67.7%減



物流関連事業

食品・食材等の仕分・
配送、物流システムの
提案

売上高
129億円
前期比 2.2%減

営業利益
6.4億円
前期比 4.5%増

食品製造設備関連事業

食品製造設備等の販売

売上高
5億円
前期比 83.8%減

営業利益
△0.7億円
前期は0.8億円の営業利益

セグメント別の営業利益は、調整額調整前の数値で表示しています(合計△7.1億円)。

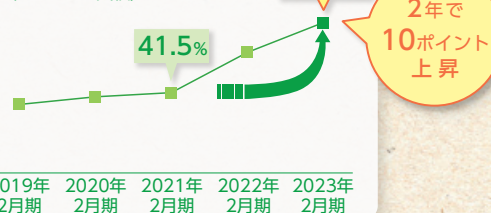
食品関連事業

加速するチルド弁当のニーズ

国内における弁当のニーズは、20℃程度で管理する常温弁当から冷蔵管理するチルド弁当へのシフトが急速に進んでいます。

厳格な温度管理を行うチルド弁当は、消費期限の長さから販売できる時間も長いため、店頭での販売機会損失を抑制するとともに食品ロスの削減にも貢献しています。

弁当売上におけるチルド比率
(当社グループ実績)

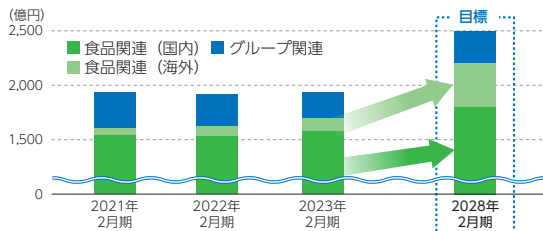


中期経営計画

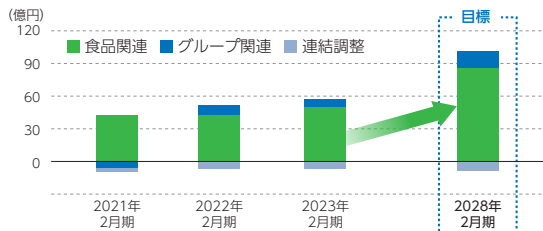
当社は2024年2月期を初年度とする5カ年の中期経営計画を策定しました。中期経営計画の最終年度となる2028年2月期の目標に売上高2,500億円、営業利益100億円を掲げています。この目標は、当社が中期の課題とする「持続的な成長を実現するための取り組み」を推進していくことで達成を目指します。

中期経営計画最終年度の目標(2028年2月期)

売上高 2,500 億円



営業利益 100 億円



持続的な成長を実現するための取り組み

- 国内食品関連事業の利益改善と消費者需要の追求
- 海外食品関連事業の拡大
- グループ関連事業の収益性向上
- サステナビリティ経営基盤の構築

新工場続々

本年から来年にかけて、国内外で立て続けに新工場が稼働します。

本年8月にかねてお知らせしてきた米国バージニア工場、来年3月にはラーメンやうどんといった調理麺を製造する新入間工場(埼玉県/仮称)が立ち上がります。

そして、新たに米国中西部エリアのオハイオ州周辺への設置が決まった新工場は、来年12月の稼働を予定しています。この新工場はバージニア工場を上回る規模となる予定で、多くのお客様に商品をお届けできる見込みです。



バージニア工場

バージニア工場では、本年8月の稼働に向けた準備が着々と進んでいます。

- 所在地 バージニア州スタフォード
- 延床面積 約11,800㎡
- 納品店舗数 約1,350店



新入間工場(仮称)

国内で9年ぶりとなる新工場。最新設備の積極的な導入で生産効率を高め、環境にも配慮した取り組みを推進していきます。

変わる売上ポートフォリオ

来年から新たに製造を始める焼ききたてパンや調理麺の新工場が稼働することで、売上ポートフォリオ(商品別売上構成)の変化が加速し、当社グループの品ぞろえはこれまで以上に幅広いものとなります。

多様化が進むお客様のニーズにお応えするため、商品開発力と幅広い品ぞろえを生かした新たな価値の創出を進めていきます。

サステナビリティへの取り組み



マテリアリティ(重要課題)の特定

当社は、グループの持続的な成長とともに事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指し、マテリアリティを特定しました。

わらべや日洋グループが目指すサステナビリティ経営に向けて、取り組むべき5つの重要課題

マテリアリティ	課題の内容・目指す姿/主な取り組み
1 循環型社会への貢献 	脱炭素を推進し、環境負荷の低減を図り、循環型社会の実現を目指す <ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量の削減 ● 産業廃棄物排出量の削減 等
2 食の喜びの提供 	お客様の安全・安心で多様な食生活に貢献する <ul style="list-style-type: none"> ● 品質管理の徹底 ● 健康を考慮した商品の開発 等
3 持続可能なサプライチェーンの実現 	気候変動や社会情勢変化に対応した安定的な食料の調達・供給 <ul style="list-style-type: none"> ● 海外も含めた食糧調達・供給安定化 ● 配送効率の向上 等
4 働きがい、人権と多様性の尊重 	全ての人が活躍できる仕組みの確立 <ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティ ● 教育などの人材投資 等
5 強固な事業基盤の確立 	事業環境の変化に合わせた柔軟かつ迅速な対応力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ● ガバナンスの強化 等

新商品情報

八代目儀兵衛監修 銀しゃりおむすび牛そぼろ

京都の老舗米屋の八代目儀兵衛が監修した、お米にとことんこだわったおむすびが新登場。粒立ちの良いものを低温精米したブレンド米は冷めても甘く、さわやかに仕上げた牛そぼろとの相性は抜群です。



旨辛麻婆豆腐丼



定番の麻婆丼に、新たに粒トウチを使うことで本場の味に近づける一方、味付けは畜肉のだしの旨味を効かせることで日本人好みに仕上げました。豚ひき肉の一部を大豆ミートに置きかえサステナブルにリニューアル!

お店で作るダブルベリーヨーグルトスムージー

ブルーベリーとストロベリーがたっぷり入ったヨーグルトスムージーで絶妙な酸味と甘味が楽しめます。お店の専用機械で作るスムージーの販売店舗は全国に拡大中です。



北海道十勝産小豆使用 草もち



使用原料の見直しにより、これまで以上によもぎを感じられる草もちが絶賛発売中です。甘さ控えめのこしあん、よもぎの風味のベストマッチをおたのしみください。

会社概要 (2023年2月28日現在)

商号 わらべや日洋ホールディングス株式会社
(WARABEYA NICHIO HOLDINGS CO., LTD.)

設立 1964年3月18日

資本金 8,049百万円

従業員 (連結)社員1,875名/
臨時従業員7,670名(1日8時間労働換算)

株式の状況

発行可能株式総数 55,000,000株

発行済株式の総数 17,625,660株 (自己株式11,889株含む)

株主数 8,873名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月

定時株主総会の基準日 2月末日

配当金受領株主確定日 (期末配当金) 2月末日

株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載URL <https://www.warabeya.co.jp/ja/ir/accounting.html>
ただし、事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

より詳細な会社情報は
Webサイトをご覧ください

<https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 2918

……………以下の方法でもアンケートにアクセスできます……………



検索窓から

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

わらべや日洋ホールディングス株式会社

〒162-8020 東京都新宿区富久町13番19号

TEL:03-5363-7010(代表)

<https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用
して印刷しています。

